

森 八 郎 博 士 の 研 究 業 績

日本家屋害虫学会会長代行

筑波大学大学院農学研究科長・教授

井 上 嘉 幸

Biography and Bibliography of Dr. Hachiro MORI

Yoshiyuki INOUE

1. はじめに

森八郎博士は昭和63年7月1日慶応義塾大学病院で死去された。本学会会長として研究会の設立から学会の草創期を尽力され、また、慶応義塾で30年以上にわたり教育研究に携って後進の育成をはかり、昭和16年以来47年間家屋および文化財の虫害とその防除に関する研究を行い、77年の生涯を全うされた。

先生の研究業績は極めて広汎にわたり、そのすべてを紹介することは困難と考えられるが、ここに略歴および主要な業績を紹介する。

2. 略歴

森八郎先生は、明治44年5月7日大阪で出生され、旧制の大阪府立北野中学、第一高等学校理科乙類を経て、昭和12年東京帝国大学農学部農学科に入学、同15年卒業と同時に同大学大学院に入学され、特選給費学生に採用され動物学昆虫学を専攻された。昭和16年に古美術自然研究会（代表者東京帝国大学瀧精一教授）から「文化財の虫害」に関する研究を委嘱され、この分野の研究を開始した。同18年には新制度による大学院特別研究生に採用され、同20年9月大学院を修了された。同21年には慶応義塾大学医学部予科講師、同24年同大学工学部助教授、同32年同大学経済学部教授となり同52年大学を停年退官され慶応大学名誉教授になられた。この間昭和27年には東京大学より農学博士を授与されている。団体等役員としては、財団法人文化財虫害研究所理事長、東京国立文化財研究所調査研究員、社団法人日本しろあり対策協会副会長、応用動物学会評議員、古文化財科学研究会副委員長、厚生省衛生検査指針審議会専門委員等を歴任された。

3. 本学会の設立の経緯と現状

先生は長年にわたり日本しろあり対策協会の機関誌「しろあり」の編集発行を行ってきた。この雑誌にはヒラタキクイムシなどシロアリ以外の報文等も掲載されたが、家屋害虫全般を自由に執筆、掲載できる会誌がなく関係者とくに先生は不自由を感じていた。昭和54年には家屋害虫研究会設立発起人91名の強い要望により「家屋害虫研究会」が設立され、機関誌「家屋害虫」が刊行された。この創刊号は1, 2号の合併号で発行は昭和54年9月11日、発行所は家屋害虫研究所、また、4章、14条からなる家屋害虫研究会会則が制定された。この中で、本会は「木造建築物等に対するシロアリ類・クイムシ類その他の害虫による被害や、毛織物・絹織物等の衣類、書画ならびに重要古文化財に対するカツオブシムシ類、シミ類その他の害虫による被害を可及的に防止し、それらを維持保存するとともに併せて木材その他の資源の節約に資し、もって公共の福祉を増進する」ことを目的とした。編集方針の一つとして、多くの論文が特定団体の機関誌等に掲載され、一般に広く目につくことが少ない場合もあるので、実際の害虫防除に役立つような論文は内外を問わず会員に広く紹介することも図られた。このように、害虫防除の理論、新しい防除技術の開発、改善に対して本誌が貢献することが明らかにされた。

昭和55年度総会は、昭和56年1月30日社会文化会館で行われたが、森会長より昭和56年度より本会の名称を「日本家屋害虫学会」とすることの提案があり承認された。家屋は、人の最も身近な環境であり、

加害する昆虫の種類、形態、生態ならびに虫害の調査、鑑定をはじめ、害虫対策は昆虫学者をはじめ防虫に関心をもつ人々に不可欠であり、家屋害虫を防除してより快適な生活環境とすることが必要である。家屋害虫として、シロアリ、甲虫、ゴキブリ、ハチ、ハエ、カ、衣類害虫、書籍害虫、表具害虫、貯穀害虫、庭木害虫、菜園害虫、果樹害虫、ダニ、シラミなどがあり、これらの検索、調査、防除、薬剤などが重要である。なお、これらを含む図書「家屋害虫」1巻および2巻が本学会によって井上書院から出版されている。本学会の会員は、昭和63年2月現在、名誉会員3名、賛助会員2名、団体会員及び企業会員51社、個人会員153名である。

4. 森八郎博士の功績

森八郎先生は義塾賞を昭和50年11月1日、慶応義塾大学より授与された。慶応義塾大学教授として在職中の昭和48年5月、東京国立文化財研究所の要請を受けて研究を行ったが、この賞は「文化財の虫害とその保存科学に関する一連の基礎的並びに応用的研究」に対するもので、先生は文化財としての建造物、美術工芸品について新しい虫害防除法を開発し、その実用化を図るなどの研究成果をあげた。とくに、真空タンクを用いた減圧燻蒸法、各種薬剤の文化財材質への薬害に関する研究、シロアリ等加害昆虫探知機の開発（特許260149）、文化財建築物の大規模被覆密閉燻蒸法の確立、ホウ素系薬剤の実用化研究などが含まれている。

なお、国際記念物・美術品保存学会（IIC）の昭和53年第7回会議において「日本における木造文化財の虫害とその防除」について発表し、昭和55年には第16回国際昆虫学会で家屋害虫部門のオルガナイザーとなり、昭和60年に開催された第69回米国昆虫学会では「日本におけるイエシロアリ、その分布、被害、防除法」について発表を行い、会期中シロアリの巣の探知法について実演された。

昭和54年より財団法人文化財虫学研究所の研究、普及活動を再開され、「文化財虫菌害防除対策研修会」をはじめ、書籍、古文書の虫、黴害保存対策研修会、「文化財の燻蒸処理実務講習会」等を開催するとともに、「文化財の燻蒸処理標準仕様書とその補遺」等を出版された。

昭和54年4月29日、紫綬褒章を授与されたが、これは、わが国における文化財保存科学の搖籃期から、文化財の虫害とその防除に関する研究及びシロアリ等家屋害虫に関する一連の研究に多大の業績を挙げ、文化財の虫害対策の確立に努めたことによる。

昭和61年4月29日、勲三等に叙され瑞宝章を授与されているが、これは昭和16年以来45年間にわたる文化財の虫害とその防除に関する研究で、わが国の文化財保護に尽力された功績ならびに永年の教育研究に対する功勞により授与された。

昭和63年7月1日、正五位に叙された。なお、「文化財の虫菌害と保存対策」が昭和62年5月、郵政省補助金（880万円）に財団法人文化財虫害研究所の基金を加え出版されている。

(1) 文化財の減圧燻蒸法の研究開発

先生は昭和19年減圧加温殺虫法について研究を行い、つづいて減圧の殺虫機構と減圧を応用する殺虫法について検討を行った。この研究に対し昭和27年東京大学から農学博士の学位が授与されている。昭和30年には、はじめて正倉院に文化財の減圧燻蒸装置が設置され、最近では博物館等の必需品とされるまでに普及した。

(2) 樹木および木材中における食害昆虫の探知方法

先生はシロアリ等の探知機を開発したが、この装置はシロアリの活動音を聞けるもので、小型携帯用の装置で、世界で唯一の探知機であり、わが国及びアジア地域等で活用されている。

(3) 薬剤の文化財材質への影響

文化財の材質に対する薬剤の影響について、金属・顔料・染料などに及ぼす燻蒸剤、防虫剤、防黴剤などの影響を研究し、また、殺虫効果、残留ガスの廃棄方法等の一連の研究により、建築物、美術工芸

品等大規模な被覆燻蒸法，密閉燻蒸法等を確立した。なお，昭和56年に出版された「文化財燻蒸処理標準仕様書とその補遺」が文化財保護の推進に大きく寄与している。

(4) シロアリ，シバンムシ，ヒラタキクイムシによる虫害調査

木造文化財のシロアリ被害，木造建築物のほか，木彫，書籍，古文書，絵画等広範囲の文化財を穿孔，加害するケブカシバンムシ，フルホンシバンムシ，ザウテルシバンムシ，クロノコヒゲシバンムシ，タバコシバンムシ，ジンサンシバンムシ等の虫害と，その鑑別法および防除法を明らかにした。

(5) 文化財建造物の蟻害調査

昭和46～48年には「国宝及び重要文化財建造物の蟻害緊急調査」が企画され，この調査によってわが国の指定文化財建造物の約40％にシロアリ被害が認められ，昭和47～51年度にわたって約5,700万円の国庫補助事業として，全国的な蟻害防除事業が実施された。

5. 森八郎博士の主な研究業績

- 1) 新井英夫 (1986) 森八郎博士の叙勲の栄をたたえて，文化財の虫菌害，11，46-56.
- 2) 森八郎 (1940) 接触剤の殺卵作用(1)ピレトリンの殺卵作用，応動12 (5.6)：209-214.
- 3) MORI, H. (1941) Studies on the Insecticidal Action of Pyrethrin, J. of College of Agr. Tokyo Imperial University XV (1)：33-43.
- 4) 森八郎 (1943) 接触剤の殺卵作用，(2)ロテノールの殺卵作用，応動14 (3～5)：178-185.
- 5) 森八郎 (1944) 減圧加温殺虫法に関する研究(1)，応動15 (1～4)：86-101.
- 6) 森八郎 (1952) 減圧の殺虫機構と減圧を応用する殺虫法に関する研究，応動17 (1.2)：83-96.
- 7) 森八郎 (1953) 同上 (続) 応動17 (3.4)：111-144.
- 8) 森八郎・熊谷百三 (1954) 文化財に対する燻蒸剤の薬害について，Ⅰ．金属に及ぼす影響，古文化財の科学8：17-21.
- 9) 森八郎・熊谷百三 (1955) 文化財に対する防虫剤・防黴剤の薬害について，Ⅰ．金属に及ぼす影響，同上10：9-12.
- 10) 森八郎・熊谷百三 (1955) 文化財に対する燻蒸剤の薬害について，Ⅱ．顔料に及ぼす影響，同上11：21-28.
- 11) MORI, H. KUMAGAI, M. and MACHIDA, K. (1956) Diagnosis of Insect Damage to Wooden and Bamboo Materials through Roentgenography. Ibid 13：1-21.
- 12) 森八郎 (1956) 藤原氏遺体の動物学的調査とその保存措置について，三田学会雑誌日吉特別号：1-15.
- 13) 森八郎・熊谷百三 (1957) 古文化財に及ぼす燻蒸剤の影響，化学の領域11 (9)：3-9.
- 14) 森八郎 (1957) 正倉院御物の昆虫学的調査とその虫害の防除について，三田学会雑誌日吉特別号2：1-10.
- 15) 森八郎ほか (1957) 正倉院御物材質調査，宮内庁書陵部紀要8：57-81.
- 16) 森八郎・熊谷百三 (1957) 正倉院御物の減圧殺虫，古文化財の科学14：1-7.
- 17) 森八郎・熊谷百三 (1958) 最近のシロアリ被害と防除対策について，慶応義塾創立百年記念論文集，三田学会雑誌日吉特別号3：212-232.
- 18) 森八郎 (1960) 平安神宮 (京都) 神苑のシロアリ被害，同上6：1-13.
- 19) 森八郎・熊谷百三 (1961) 建長寺・円覚寺 (鎌倉) のシロアリ被害，同上7：43-57.
- 20) 中島茂・森八郎 (1961) しろありの知識，林総協：346.
- 21) 森八郎 (1962) 古文化財の虫害とその対策，木材工業17 (181)：12-15.
- 22) 森八郎 (1962) 古文化資料を加害する昆虫とその虫害対策，博物館研究35 (7)：125-130.
- 23) MORI, H. KUMAGAI, M. and HIROKAWA, K. (1962) New Termite Detector "Sonic Detector

- Type SD-II Equipped with Transister, 三田学会雑誌日吉論文集12 (自然科学編1):1-7.
- 24) 森八郎ほか (1963) しろあり用語集, 全日本しろあり対策協議会編:37.
 - 25) 森八郎ほか (1964) シロアリ防除ダイジェスト, 同上:141 (改訂版1968, 1973).
 - 26) 広川享子・森八郎 (1964) シロアリコロニー衰微の原因について, 慶大日吉論文集16 (自然科学編2):73-86.
 - 27) 森八郎・熊谷百三・広川享子・町田和江 (1964) X線写真によるヒラタキクイムシの生態観察法, 同上:87-102.
 - 28) MORI, H. KUMAGAI, M. and HIROKAWA, K. (1965) On the Frequency of the Sounds Caused by Activities of Some Kinds of Insects, Ibid 3:88-96.
 - 29) 森八郎 (1965) ヒラタキクイムシの防除に関する研究[1]化学的防除 (薬剤試験), 同上:97-114.
 - 30) 森八郎 (1966) 断熱材の耐蟻性について, しろあり5:31-33.
 - 31) 森八郎 (1967) 乾材害虫に対する殺虫剤の効力試験法に関する私見と試験例(1)接触剤の試験法と試験例, 慶大日吉論文集自然科学編4:65-76.
 - 32) MORI, H. and KUMAGAI, M. (1967) Improvement in Termite Detector, Sonic Detector Type SD-III, Ibid. 4:77-79.
 - 33) 森八郎 (1967) 天幕燻蒸によるシロアリの駆除, しろあり7:32-36.
 - 34) 森八郎 (1968) ヒラタキクイムシとその防除法, 同上9:32-35.
 - 35) 森八郎・町田和江 (1968) わが国における最近のシロアリ分布と被害調査 (第1報), 慶大日吉論文集自然科学編5:98-110.
 - 36) 森八郎ほか (1968) しろあり防除ダイジェスト (改定版), 日本しろあり対策協会編:163.
 - 37) 森八郎・町田和江 (1969) わが国における最近のシロアリ分布と被害調査 (第2報), 慶大日吉論文集自然科学編6:38-67.
 - 38) 森八郎 (1970) ヒラタキクイムシ最近の大発生と防除対策, 同上13:94-115.
 - 39) 森八郎 (1970) Tributyltin dithiocarbamate を有効成分として含有する一連の有機錫化合物の殺虫作用 (予報), 同上自然科学編7:56-76.
 - 40) 森八郎・熊谷百三 (1970) 燻蒸剤の金属・顔料・染料に及ぼす影響, しろあり13:30-38.
 - 41) 森八郎・町田和江 (1971) わが国における最近のシロアリ分布と被害調査 (第3報), 慶大日吉論文集自然科学編8:70-86.
 - 42) 新井英夫・森八郎・原田豊秋 (1972) 重要文化財増上寺三解脱門の燻蒸, 保存科学9:55-62.
 - 43) 森八郎 (1972) DDVP 樹脂蒸散防虫剤の金属・顔料・染料に及ぼす影響, 慶大日吉論文集自然科学編9:72-95.
 - 44) 森八郎 (1972) シロアリの種類・分布・生態および探知法, 建設資料2 (5):139-151.
 - 45) 森八郎 (1972) 木材の防霉・防虫対策(1)シロアリとヒラタキクイムシ, 建築界21 (8):58-72.
 - 46) 森八郎 (1972) 北上するシロアリの群れ, 関東地方の被害, ハウスプラン39 (9):214.
 - 47) 森八郎・新井英夫・町田和江ほか (1973) 国宝・重要文化財建造物の蟻害緊急調査—千葉県蟻害調査を中心に—, 保存科学11:47-68.
 - 48) MORI H. (1973) Explanation and Evaluation of Two Electronic Termite Detectors, Comparing the Sonic Detector in Japan with the Physionics Termite Detector in America, Hiyoshi Science Review 11:58-70.
 - 49) 森八郎ほか (1973) しろあり防除ダイジェスト (改定版), 日本しろあり対策協会編, 220.
 - 50) 森八郎・新井英夫 (1974) 町田郷土資料館におけるバイケン燻蒸, 保存科学12:103-108.
 - 51) 森八郎 (1974) 日本におけるシロアリの最近の分布, 木材工業29 (11):50-52.

- 52) 森八郎 (1974) 国宝・重要文化財閑谷学校の虫害調査, しろあり22:42-45.
- 53) 森八郎 (1975) シロアリ, 日本環境衛生センター, 31.
- 54) 新井英夫・森八郎 (1975) 書籍の生物劣化とその防除, 保存科学14:33-43.
- 55) 森八郎 (1975) 葉香の防虫効果, 同上14:45-49.
- 56) 森八郎・新井英夫・町田和江 (1975) 斯道文庫など書庫内で採集された昆虫と書籍害虫のカタログならびにその代表的食痕・虫糞と防除法, 慶大日吉論文集自然科学編12:109-145.
- 57) 森八郎 (1975) シロアリの生態ともっとも有効な防蟻方法, ハウスプラン6 (別冊):15-19.
- 58) 森八郎 (1975) 文化財害虫のリストと虫害に対する保存科学, 古文化財の科学19:24-60.
- 59) 新井英夫・森八郎 (1975) 減圧時の燻蒸条件, 同上19:61-65.
- 60) 森八郎 (1976) 図書館の害虫対策, ライブラリーニュース (丸善) 104:11.
- 61) 石川陸郎・三浦定俊・新井英夫・森八郎 (1976) 重要文化財根津神社楼門の X 線透視調査と防腐防虫対策, 保存科学15:19-24.
- 62) 森八郎・門倉武夫 (1976) 重要文化財閑谷学校聖廟大成殿と閑谷神社の被覆燻蒸, 慶大日吉論文集自然科学編13:53-65.
- 63) 森八郎 (1976) わが国に生息する“住まいの害虫”リスト〔I〕種類 (和名と学名), しろあり26:12-17.
- 64) 森八郎 (1976) わが国に生息するヒラタキクイムシ科 Lyctidae の害虫とヒラタキクイムシの Mass culture について, 木材保存5:11-23.
- 65) 森八郎 (1976) わが国に生息する“住まいの害虫”リスト〔II〕各論1. 等翅目, 2. 鞘翅目, しろあり27:2-6.
- 66) 森八郎 (1976) 速報〔I〕アメリカ乾材シロアリ東京都内に定着, 〔II〕秦野市に発生したイエシロアリの巣の発掘, 同上27:45-47.
- 67) 森八郎 (1977) 博物館につく虫, 自然科学と博物館, 43 (4):171-178, 184.
- 68) 森八郎 (1977) 関東地方およびその近県におけるシロアリ事情, しろあり28:39-44.
- 69) 森八郎 (1977) 和紙と虫害, 表具の科学:137-143, 東京国立文化財研究所編.
- 70) 森八郎・新井英夫 (1977) 防虫・防黴剤の薬効と材質への影響, 同上:144-149, 東京国立文化財研究所編.
- 71) 森八郎 (1977) ヒラタキクイムシとその防除, 生活と環境1977 (5):72-82.
- 72) 森八郎 (1977) シロアリ被害と防除法, 建設資料30 (4):79-93.
- 73) 新井英夫・森八郎 (1977) 唐招提寺展の展示品の燻蒸について, 古文化財の科学20. 21:88-92.
- 74) 森八郎・門倉武夫 (1977) 如庵 (国宝) および旧正伝院 (重要文化財) の被覆燻蒸, 同上20・21:93-100.
- 75) 森八郎 (1977) 古文化財の虫害と防除, 考古学と自然科学10:95-114.
- 76) 町田和江・森八郎 (1977) 建築用材料の耐蟻性試験, しろあり29:2-10.
- 77) 新井英夫・森八郎 (1977) ヨーロッパにおける最近のシロアリ事情, しろあり29:11-18.
- 78) 森八郎 (1978) 木造建築物の蟻害と腐朽の探知診断法, しろあり30・31:70-77.
- 79) 森八郎ほか (1978) しろあり防除ダイジェスト (改訂版), 日本しろあり対策協会編, 144.
- 80) 森八郎ほか (1978) わが国におけるシロアリの生息北限調査, しろあり33:2-7.
- 81) 森八郎 (1978) 文化財とシロアリ, 同上34:1-2.
- 82) 新井英夫・森八郎 (1978) 増上寺における経蔵などの燻蒸, 古文化財の科学22:29-35.
- 83) 森八郎・新井英夫 (1978) 明治神宮宝物殿虫害の調査, 対策ならびに措置, 同上22:36-42.
- 84) 森八郎 (1978) わが国に生息するヒラタキクイムシ科 Lyctidae の害虫1種ケブトヒラタキクイム

- シ *Minthea rugicollis* Walker 追記, 木材保存12:27-28.
- 85) 森八郎ほか (1978) 本州日本海沿岸のイエシロアリ分布調査, しろあり35:25-26.
 - 86) 森八郎 (1978) 北海道におけるシロアリ分布と文化財の蟻害について, 古文化財の科学23:40-51.
 - 87) MORI H. and ARAI, H. (1978) BIOETHERIORATION OF WOODEN CULTURAL PROPERTIES AND ITS CONTROL Proc. International Symp. on Conservation and Restoration of Cultural Property—Conservation of Wood—1:1-16.
 - 88) MORI, H. (1978) INSECT PESTS OF WOODEN CULTURAL PROPERTIES AND THEIR CONTROL IN JAPAN, Conservation of Wood in Painting and the Decorative Arts. Preprints of the Contribution to the Oxford Congress, II C.:15-17.
 - 89) 森八郎 (1979) 小笠原諸島 (父島) におけるシロアリ分布の変遷, しろあり36:35-36.
 - 90) 森八郎 (1979) わが国に生息する“住まいの害虫”リスト (Ⅱ) 各論 2. 鞘翅目 (続), 同上37:2-8.
 - 91) 森八郎・新井英夫 (1979) タケ材の虫害と防除措置, 保存科学18:41-55.
 - 92) 新井英夫・森八郎・門倉武夫 (1979) レオナルド ダ ビンチ展における生物劣化防除, 同上35-39.
 - 93) 森八郎 (1979) シロアリ予防対策, 建築東京15 (175):30-35.
 - 94) 森八郎・新井英夫 (1979) 残効ピレスロイド剤の Screening test, ペルメトリンのイエシロアリに対する殺蟻効力試験, 古文化財の科学24:51-63.
 - 95) 森八郎 (1979) 残効性ピレスロイド剤の Screening test, ペルメトリンのイエシロアリに対する防蟻効力試験, 家屋害虫 3・4 (合冊号):1-9.
 - 96) 森八郎 (1979) Tributyltin dithiocarbamate を有効成分として含有する一連の有機錫化合物の殺虫作用, 同上:34-44.
 - 97) 新井英夫・森八郎 (1980) 新設博物館における生物学的問題, 保存科学19:1-7.
 - 98) 森八郎 (1980) わが国に生息する“住まいの害虫”リスト (続) [Ⅱ] 各論 3. 膜翅目 4. 鱗翅目 6. 総尾目 7. 嚙虫目 8. 双翅目 9. 直翅目, しろあり41:2-12.
 - 99) 森八郎 (1980) シロアリと人間生活, 泉28:74-77.
 - 100) 森八郎 (1980) シロアリの被害と防除, アニマ (ANIMA) 91:35-40.
 - 101) 森八郎ほか (1980) シロアリ詳説, (社)日本しろあり対策協会編, 314.
 - 102) 森八郎ほか (1980) シロアリ防除処理ダイジェスト (新版), 同上, 142.
 - 103) 森八郎 (1980) 家屋害虫最近の状況, 家屋害虫 (7・8):1-2.
 - 104) 新井英夫・森八郎 (1980) 文化財の長期保存に関する研究 (第1報) (Ⅰ) 同時2軸延伸ポリビニルアルコールフィルムの文化財生物劣化防止への応用, 古文化財の科学25:80-102.
 - 105) 森八郎 (1981) 殺虫剤としての有機錫化合物, ペストコントロール, 33:8-16, (社)日本ペストコントロール協会編.
 - 106) 森八郎 (1981) 文化財の燻蒸, 文化財の虫菌害1:16-21, (財)文化財虫害研究所編
 - 107) 森八郎 (1981) 家屋内一般害虫とその防除, (財)日本環境衛生センター編, 47.
 - 108) 森八郎 (1981) 残効性ピレスロイド剤の Screening test, ペルメトリンのイエシロアリに対する防蟻効力試験—薬剤処理杭試験体の2年4ヵ月経過時の成績, 保存科学20:11-16.
 - 109) 新井英夫・森八郎 (1981) コンクリート壁体のガス透過性 (その1), 同上:17-25.
 - 110) 森八郎・新井英夫 (1981) 軸装の昆虫による被害について, 同上:27-33.
 - 111) 新井英夫・森八郎 (1981) 新設燻蒸庫について, 同上:35-41.
 - 112) 森八郎 (1981) ヒラタキクイムシ, 生活と環境 1981 (4):33-34, (財)日本環境衛生センター編.
 - 113) 森八郎写真提供 (1981) シロアリ—その社会と生態, 科学と実験 1981 (6):3-6, (共立出版株式会社) グラビア.

- 114) 森八郎 (1981) 殺虫塗料の効力試験, 家屋害虫, (9・10): 26-39.
- 115) 森八郎・新井英夫 (1981) 水中文化財の海虫対策 (予報), 古文化財の科学, 26: 89-95.
- 116) 森八郎 (1982) アメリカの侵入者ノアメリカカンザイシロアリ, *Incisitermes minor* (Hagen), 家屋害虫 (11・12): 26-30.
- 117) 森八郎 (1982) わが国における建材から発生する害虫の実態と課題点, 生活と環境, 27 (5): 3-8.
- 118) 森八郎・新井英夫 (1982) 木彫仏像など文化財の燻蒸時間短縮法について, 保存科学 21: 33-39.
- 119) 森八郎 (1982) 化学防虫剤の効用, 神奈川県博物館だより15 (3): 2-3.
- 120) 森八郎 (1982) 絵画の虫害とその防除措置, 文化財の虫菌害5: 3-28.
- 121) 森八郎 (1982) 文化財に影響の少ない燻蒸剤, 文化財の虫菌害, 同上: 52-56.
- 122) 森八郎・新井英夫 (1982) わが国における文化財の生物劣化に関する研究史 (I), 文化財の虫菌害4: 23-32.
- 123) 森八郎 (1982) 家屋害虫の知識, 家屋害虫 (13・14): 1-5.
- 124) 森八郎 (1982) 文化財と昆虫(1)環境衛生29 (10): 8-14.
- 125) 森八郎 (1983) 同上(2), 同上30 (1): 24-30.
- 126) 森八郎 (1983) 家屋の虫害調査法, 家屋害虫 (15・16): 81-94.
- 127) 新井英夫・見城敏子・森八郎 (1983) 文化財の長期保存に関する研究 (第2報), 出土遺物等の保存へのBO-PVA フィルムの応用, 保存科学22: 39-45.
- 128) 新井英夫・森八郎 (1983) 厳島神社大鳥居における海虫対策, 同上: 47-58.
- 129) 森八郎・新井英夫 (1983) わが国における文化財の生物劣化に関する研究史 (II), 文化財の虫菌害6: 3-10.
- 130) 森八郎 (1983) 文化財と昆虫(3)環境衛生30 (3): 16-22.
- 131) 森八郎 (1983) 同上(4), 同上30 (5): 18-24.
- 132) 森八郎ほか共著 (1983) 木造建築物等防霉・防蟻・防虫処理技術指針・同解説, (社)日本しろあり対策協会編, 155.
- 133) 森八郎 (1983) 文化財と昆虫(5), 環境衛生30 (8): 24-30.
- 134) 森八郎 (1983) 文化財害虫とその防除対策(1)主要な文化財害虫, 環境管理技術1 (3): 147-155.
- 135) 森八郎 (1983) ホキシム (Phoxim) を主剤とする殺蟻剤の効力試験, 文化財の虫菌害7: 3-12.
- 136) 森八郎 (1983) 文化財と昆虫(6)環境衛生30 (10): 26-32.
- 137) 森八郎 (1983) 硼素化合物による防蟻処理 [I] 硼素化合物含有セルロース素材のイエシロアリに対する殺蟻効力試験ならびに忌避効力試験 (予報) 家屋害虫 (17・18): 20-24.
- 138) 森八郎 (1984) 同上 [II] 硼素化合物含有セルロース素材で被覆された木材の防蟻効力について (予報), 同上 (19・20): 1-7.
- 139) 森八郎 (1984) 硼素化合物による防蟻処理 (第1報), 保存科学23: 41-54.
- 140) 森八郎 (1984) 文化財と昆虫(7), 環境衛生31 (4): 14-19.
- 141) 森八郎 (1984) 古文化財の虫害と保存, 大法輪51 (5): 31-32.
- 142) 森八郎 (1941) 硼素剤による防虫処理 (III) —硼素剤混入セルロース素材のゴキブリに対する効力試験 (予報), 文化財の虫菌害8: 3-6.
- 143) 森八郎 (1984) 文化財と昆虫(8), 環境衛生31 (7): 32-38.
- 144) 森八郎 (1984) 本を喰う虫 ((特集)「紙」と保存を考える) JP REPORT 45: 18-20.
- 145) 森八郎 (1984) 本の虫・カビとその対策 (特集: 本と紙) 大学時報 (日本私立大学連盟) 33 (179): 60-65.
- 146) 森八郎 (1984) 文化財と昆虫(9), 環境衛生31 (9): 16-22.

- 147) 森八郎 (1985) 同上(10), 同上32 (1): 24-30.
- 148) 新井英夫・森八郎 (1985) コンクリート壁体のガス透過性 (その2) —シポレックスに対する燻蒸剤の挙動—保存科学24: 47-53.
- 149) 森八郎 (1985) 文化財のシロアリ被害, しろあり62: 4-13.
- 150) MORI, H. (1985) The Formosan Subterranean Termite in Japan: Its Distribution, Damage and Current and Potential Control Measures, Abstracts of Lectures at the International Symposium Held by the Pacific Branch of the Entomological Society of America, 69th Annual Meeting.
- 151) 森八郎・山野勝次・児玉勝・山根坦・柿原八士・江崎逸夫 (1985) 第69回米国昆虫学会1985年次大会太平洋分科会主催のイエシロアリに関するシンポジウムに講演者として参加, 家屋害虫 (25・26): 1-19.
- 152) 森八郎 (1985) 硼素化合物による防虫処理 (第2報) —ゴキブリに対する効力試験—, 文化財の虫菌害10: 3-8.
- 153) 森八郎・山野勝次 (1986) イエシロアリに関する国際シンポジウムに出席して, しろあり63: 2-18.
- 154) 森八郎 (1987) 硼素化合物による防虫処理 (第4報) 建造物のダニ類に対する効力試験—畳ダニの発生しない藁床畳の製法について (予報)—, 文化財の虫菌害, 13, 30-32.
- 155) 森八郎 (1988) 巻頭言, しろあり. 72: 1-3.
- 156) 森八郎他 (1987) 酸性紙の中和について (第3報) ジェチル亜鉛による雑誌類の中和処理条件と装置, 文化財の虫菌害, 13, 14-18.
- 157) 森八郎 (1988) シロアリの社会生活, 家屋害虫 (33・34): 47-74.
- 158) 森八郎 (1987) 硼素化合物による防虫処理 (第3報) —イエシロアリ (等翅目: ミゾガシラシロアリ科) に対する効力試験—, 家屋害虫 (31・32): 7-9.
- 159) 森八郎 (1987) 防腐防黴額縁について, 保存科学, 26.

その他の著書 (単行本) 共著

- 160) 日本生物誌 (昆虫) (1944) 古川晴男ほか共著, 研究社, 559.
- 161) 中尊寺と藤原四代, (1950) 朝比奈貞一ほか共著, 朝日新聞社, 260.
- 162) 野鼠とその防除, (1954) 三坂和英ほか共著, 学振, 455.
- 163) 木材保存ハンドブック, (1961) 芝本武夫ほか共著, 日本木材加工技術協会木材保存部会編, 877.
- 164) 新井英夫・森八郎監訳 (1973) 紙本保存の手引, 日本博物館協会, 66.
- 165) 森八郎ほか (1980) 文化財虫菌害防除ダイジェスト, (財)文化財虫害研究所編, 125.
- 166) 森八郎ほか (1980) 文化財虫菌害保存必携, 同上, 153.
- 167) 森八郎ほか (1980) 書籍・古文書等のむし・かび害保存の知識, 同上, 147.
- 168) 森八郎・新井英夫 (1981) 文化財の燻蒸処理標準仕様書とその補遺 (改訂), 同上, 41.
- 169) 木材工学辞典 (1982) (シロアリの項執筆), 日本材料学会木質材料部門委員会編, 工業出版(株) 975.
- 170) 森八郎ほか (1984) 家屋害虫, 1, 1-5, 93-117, 190-210, 228-231, 240-259, 325, 井上書院.
- 171) 森八郎ほか (1988) 家屋害虫 2, 1-16, 30-57, 167-178, 339-359, 井上書院.